

日々の祈り

2021年2月15日(月)~20日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるままに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・宮崎中部教会の歩みが、神さまの栄光を現わすものとなるように。
- ・一人でも多くの人々に、救いの恵みが知られるように。
- ・苦しみや困難の中にある兄弟姉妹に、慰めと平安があるように。

15日(月)

ルカによる福音書 12章 8節

言うておくが、だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言ひ表す者は、人の子も神の天使たちの前で、その人を自分の仲間であると言ひ表す。

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。わたしたちは信仰を告白し、イエスさまに従います。救いの恵みは、世界に告げ広められ、公に知られなければなりません。わたしの罪を赦し、滅びから救い出し、愛を注いで下さったイエス・キリストを、わたしたちは喜んで告白し、証しいのです。時にそれが困難な時もあるでしょう。しかし聖霊が助けて下さいます。すべては神の御手の中にあります。その御手に自分を委ねるならば、イエスさまもまたわたしたちを「仲間である」と、この者はわたしのものであると、天において宣言して下さるのです。

16日(火)

ローマの信徒への手紙 8章 15~16節

あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、「アツバ、父よ」と呼ぶのです。この霊こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの霊と一緒に証ししてください。

イエスさまの救いに与らせるため、わたしたちを信仰へと導いて下さるのは聖霊なる神さまです。聖霊は、わたしたちを神の子として下さり、またそのことを証しして下さいます。わたし自身が、自分の弱さや愚かさによって、神の子であることに不安を感じても、疑いたくなくなってしまっても、聖霊が、あなたは確かに神の子だと証言し、証明して下さいます。聖霊を求めましょう。

17日(水)

使徒言行録 5章 40~42 節

使徒たちを呼び入れて鞭で打ち、イエスの名によって話してはならないと命じたうえ、釈放した。それで使徒たちは、イエスの名のために辱めを受けるほどの者にされたことを喜び、最高法院から出て行き、毎日、神殿の境内や家々で絶えず教え、メシア・イエスについて福音を告げ知らせていた。

十字架の前日、イエスさまを知らないと言って逃げ出した使徒たちが、復活のイエスさまと出会い、聖霊を受け、大胆に福音を語る者とされています。イエスさまを告げ知らせることで、彼らは迫害を受け、鞭打たれ、牢に捕らえられます。しかし、「イエスの名のために辱めを受けるほどの者にされたことを喜」びました。痛みや苦しみに打ち勝つのは、イエスさまの罪の赦しと、復活と永遠の命の約束と、主と共に歩む大いなる喜びです。

18日(木)

詩編 52 編 10~11 節

わたしは生い茂るオリーブの木。神の家にとどまります。世々限りなく、神の慈しみに依り頼みます。あなたが計らってくださいますから／とこしえに、感謝をささげます。御名に望みをおきます／あなたの慈しみに生きる人に対して恵み深い／あなたの御名に。

わたしたちは、依り頼むべきものを知らなければなりません。富や、財産、才能、人が持つあらゆるものは、この世で生きる上で役立ち、頼りになるように思えますが、それは永遠にわたしたちを支えることは出来ません。わたしたちは、すべてを計らって下さる神に、恵み深い方である神に、その慈しみに、依り頼むべきです。

19日(金)

詩編 49 編 8~9 節

神に対して、人は兄弟をも贖いえない。神に身代金を払うことはできない。魂を贖う値は高く／とこしえに、払い終えることはない。

次の主日礼拝の御言葉です。わたしたちは自分が持っているもので、自分を救うことも、兄弟を救うことも出来ません。財産も、能力も、善い行いや、高い評判も、わたしたちの罪を贖うには、自分自身を救うには、まったく足りなさすぎるのです。わたしたちは、これらのものに依り頼もうとすることを、止めなければなりません。ただ、神に頼らなければならないのです。

20日(土)

ルカによる福音書 12 章 15 節

そして、一同に言われた。「どんな貪欲にも注意を払い、用心しなさい。有り余るほど物を持っていても、人の命は財産によってどうすることもできないからである。」

明日の主日礼拝の御言葉です。わたしたちはこの地上の生活で、たくさん持ちたい、多く所有したいと願っています。それはお金かも知れませんが、資格や、能力や、健康や、多くの人から認められることかも知れません。しかし、イエスさまはそれを貪欲と言われ、用心しなさいと警告されます。わたしたちが本当に求めるべきは、決して失われない、死んでも無くならない、神さまからの恵みです。地上の豊かさではなく、神さまの前で豊かにされることによってこそ、今生きる日々が根底から支えられ、本当に満たされた命を生きることが出来るのです。

聖句:日本聖書協会『聖書 新共同訳』